

# 構想中

金沢大学では、2018（平成30）年4月に人間社会学域及び理工学域の改組を構想中であり、改組に関する募集人員及び入学選抜方法等については、現在検討中です。

平成31年度金沢大学入学選抜について（2年前予告）は、現時点（平成29年4月）での内容であり、今後変更する場合があります。

## 平成31年度 金沢大学入学選抜について

平成31年度入学選抜についての変更は下記のとおりです。（注：推薦入試Ⅰは大学入試センター試験を課さない選抜を、推薦入試Ⅱは大学入試センター試験を課す選抜を表します。）

### 1 教科・科目等について

- ① 人間社会学域経済学類の推薦入試Ⅰの選抜方法等を下記のとおり変更します。

#### 【変更前（平成30年度）】

選 抜 方 法 等
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。
2. 選抜は、小論文、面接の結果及び提出書類（調査書、推薦書、志願理由書）等により総合して行います。小論文は以下の小論文Ⅰと小論文Ⅱからなります。 小論文Ⅰ：推薦入試Ⅰ（小論文Ⅰ実施日）前日から過去5年間に発行されたEconomist, Fortuneに掲載された英文の記事や論説から出題し、出題された論題について800字程度で論述させます。なお、英和辞典を貸与します。 小論文Ⅱ：現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について800字程度で論述させます。
3. 配点：小論文Ⅰ 100点 小論文Ⅱ 100点 面 接 100点



#### 【変更後（平成31年度）】

選 抜 方 法 等
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。
2. 選抜は、小論文、TOEIC (L&R)、面接の結果及び提出書類（調査書、推薦書、志願理由書）等により総合して行います。 なお、TOEIC (L&R) は100点満点に換算します。 小論文：現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について800字程度で論述させます。
3. 配点：小論文 100点 TOEIC (L&R) 100点 面 接 100点

② 人間社会学域経済学類の帰国子女入試の選抜方法等を下記のとおり変更します。

【変更前（平成30年度）】

選 抜 方 法 等
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。
2. 選抜は、小論文、成績証明書（調査書）、推薦書、志願理由書及び面接の結果を総合して行います。小論文は以下の小論文Ⅰと小論文Ⅱからなります。 小論文Ⅰ： 帰国子女入試（小論文Ⅰ実施日）前日から過去5年間に発行されたEconomist, Fortuneに掲載された英文の記事や論説から出題し、出題された論題について800字程度で論述させます。なお、英和辞典を貸与します。 小論文Ⅱ： 現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について800字程度で論述させます。
3. 配点：小論文Ⅰ 100点 小論文Ⅱ 100点 面 接 100点



【変更後（平成31年度）】

選 抜 方 法 等
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。
2. 選抜は、小論文、成績証明書（調査書）、推薦書、志願理由書及び面接の結果を総合して行います。 小論文： 現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について800字程度で論述させます。
3. 配点：小論文 100点 面 接 100点

③ 人間社会学域経済学類の国際バカロレア入試の選抜方法等を下記のとおり変更します。

【変更前（平成30年度）】

選 抜 方 法 等
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。
2. 選抜は、提出書類等、小論文及び面接の結果により総合して行います。小論文は以下の小論文Ⅰと小論文Ⅱからなります。 小論文Ⅰ： 国際バカロレア入試（小論文Ⅰ実施日）前日から過去5年間に発行されたEconomist, Fortuneに掲載された英文の記事や論説から出題し、出題された論題について800字程度（日本語）で論述させます。なお、英和辞典を貸与します。 小論文Ⅱ： 現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について800字程度（日本語）で論述させます。
3. 配点：小論文Ⅰ 100点 小論文Ⅱ 100点 面 接 100点



【変更後（平成31年度）】

選 抜 方 法 等
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。
2. 選抜は、提出書類等、小論文及び面接の結果により総合して行います。 小論文： 現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について800字程度（日本語）で論述させます。
3. 配点：小論文 100点 面 接 100点

④ 人間社会学域地域創造学類の国際バカロレア入試の出願要件及び選抜方法等を下記のとおり変更します。

【変更前（平成30年度）】

出願資格
次の(1)～(3)のいずれにも該当する者 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成30年(2018年)3月までに授与された者及び授与見込みの者で平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達するもの (2) 国際バカロレア資格の取得において、次の①及び②に該当する者又は平成30年(2018年)3月までに該当する見込みの者 ① 言語Aを日本語により履修し、成績評価が4以上の者 ただし、言語B(HL)を日本語により履修し、成績評価が4以上の者を含みます。 ② 本学の指定する次の科目を履修し、必要な成績評価を修めた者 地域創造学類： <u>指定なし</u>

選抜方法等
①大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 ②選抜は、 <u>提出書類等</u> 、 <u>小論文及び面接</u> の結果により総合して行います。



【変更後（平成31年度）】

出願資格
次の(1)～(3)のいずれにも該当する者 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成31年(2019年)3月までに授与された者及び授与見込みの者で平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達するもの (2) 国際バカロレア資格の取得において、次の①及び②に該当する者又は平成31年(2019年)3月までに該当する見込みの者 ① 言語Aを日本語により履修し、成績評価が4以上の者 ただし、言語B(HL)を日本語により履修し、成績評価が4以上の者を含みます。 ② 本学の指定する次の科目を履修し、必要な成績評価を修めた者 地域創造学類： <u>ディプロマスコア35以上かつグループ3～5から1科目(HL成績評価4以上)</u>

選抜方法等
①大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 ②選抜は、 <u>提出書類及び面接</u> の結果により総合して行います。

⑤ 医薬保健学域保健学類看護学専攻の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更します。

【変更前（平成30年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 学業成績が優秀、人物に優れ、看護学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	

選 抜 方 法 等	
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。	
2. 選抜は、小論文、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書等提出された書類により総合して行います。	
3. 配点	
小論文	100点
面 接（調査書、推薦書、志願理由書等を含む）	100点



【変更後（平成31年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成31年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 学業成績が優秀、人物に優れ、看護学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	

選 抜 方 法 等											
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。											
	教 科	科 目 名 等									
科 目 等	センター試験	国 語	（「国語」）							} から1	[5教科6科目]
		地理歴史	（「世界史B」、「日本史B」、「地理B」）								
		公 民	（「倫理、政治・経済」）								
		数 学	（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1）（注1）								
		理 科	（「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1）								
		外 国 語	（「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1）								
	個別学力検査等	その他	面接（調査書、推薦書、志願理由書等を含む）								
配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計	
	センター試験	200	※100 (100×1)		100	200	200			800	
	個別学力検査等							200		200	
	計	200	※100		100	200	200		200	1000	

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

⑥ 医薬保健学域保健学類検査技術科学専攻の一般入試（前期日程）の個別学力検査等で課す科目と配点を下記のとおり変更します。

【変更前（平成30年度）】

		教 科	科 目 名 等							
科目等	個別学力検査等	数 学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」							
		理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」 から1							
		外 国 語	「コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」							
配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等				200	200	200			600
	計	200	100		400	400	400			1500



【変更後（平成31年度）】

		教 科	科 目 名 等							
科目等	個別学力検査等	数 学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」							
		理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」 から2							
		外 国 語	「コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」							
配点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等				400	200	200			800
	計	200	100		600	400	400			1700

⑦ 医薬保健学域保健学類作業療法学専攻の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更します。

【変更前（平成30年度）】

推 薦 要 件
<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <p>1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>2. 学業成績が優秀、人物に優れ、作業療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>3. 合格した場合、入学することを確約できる者</p> <p>4. 推薦は、1校につき1名とします。</p>

選 抜 方 法 等
<p>1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。</p> <p>2. 選抜は、小論文、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書等提出された書類により総合して行います。</p> <p>3. 配点</p> <p>小論文 100点</p> <p>面 接（調査書、推薦書、志願理由書等を含む） 100点</p>



【変更後（平成31年度）】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成31年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 学業成績が優秀、人物に優れ、作業療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	

選 抜 方 法 等											
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。											
		教 科	科 目 名 等								
科 目 等	センター試験	国 語 地理歴史 公 民 数 学 理 科 外 国 語	(「国語」) (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) (「倫理, 政治・経済」) } から1 (「数学I・数学A」)と (「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (注1) (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1)								[5教科6科目]
	個別学力検査等	その他	面接（調査書、推薦書、志願理由書等を含む）								
配 点		国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計	
	センター試験	200	※100 (100×1)		100	200	200			800	
	個別学力検査等							400		400	
	計	200	※100		100	200	200		400	1200	

注1：大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。